

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立 直方 高等学校

92

| | | |
|---|--|---|
| <p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p> | <p>地域との関わりを大切にし、地域を支え、地域の活性化に貢献できる人材を育成する学校</p> <p>地域と一体となった教育活動を通して、生徒一人一人の個性を生かした希望進路の実現を図り、地域の未来を担う人材を育成するとともに、スポーツを愛する心を持ち、地域ぐるみでスポーツを楽しめる生涯スポーツ社会を実現する人材を育成します。</p> | |
| <p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p> | <p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○自分の夢を持ち、高い志の実現に向け、努力を持続できる逞しい心と身体の育成 ○礼節を重んじ、努力を惜みず、理想を追求する態度の育成 ○地域の課題の発見と解決に必要な知識や技能及び人間関係形成力や行動力の育成 ○スポーツに関する高度な知識や技能及び生涯スポーツ社会の実現に向けて主体的に取り組むための実践的な力の育成 ○トップアスリートまたは競技指導者として必要な資質・能力の育成 |
| | <p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○様々な進路に対応できるカリキュラムの編成 ○多岐にわたる幅広い進路希望に対応した丁寧な個別指導 ○就職、公務員希望者に対して100%進路実現させる計画的・系統的な指導 ○看護体験や保育体験、小・中学校への運動スポーツ技能指導等を企画し、心身を逞しく成長させる指導 ○直方市と連携し、地元の魅力を発信するなど、地域と連携した学びの充実 |
| | <p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○自ら学ぼうとする意欲が高い生徒 ○何事にも積極的に取り組む生徒 ○地域社会に貢献し、地元で活躍しようとする意欲を持つ生徒 |

| <p style="text-align: center;">学校運営計画(4月)</p> | | | |
|--|---|---|--------------------|
| <p>学校運営方針</p> | <p>教育基本法及び福岡県の教育目標並びに「鍛ほめ福岡メソッド」に則り平和で民主的な国家及び社会の形成者にふさわしい意思と実践力を備え、創造性豊かな人材の育成をめざすとともに、志をもって意欲的に学び自律心と思いやりの心を持つたくましい生徒を育成する。特に文武両道を志し、校訓である礼節を重んじ、努力を惜みず、理想を追求する人材の育成に努める。</p> | | <p>評価 (総合)</p> |
| <p>昨年度の成果と課題</p> | <p>年度重点目標</p> | <p>具体的目標</p> | |
| <p>入学志望者数は昨年度より増加したものの、現状を真摯に受け止め、より一層の広報活動はもとより、充実した教育活動を提供することにより本校のアピールへと繋げていく。</p> <p>コロナ禍での学校生活で、生徒は自主的・主体的に活動する経験値が低く、学校行事や部活動、異学年の交流を増やし、上級学年の生徒のリーダーシップにより培われる「直高のよき伝統」の継承を徐々に復活させる。特に本年度は体育祭や文化祭など学校行事については、不易と流行を十分に見極め、生徒会を中心とした生徒のリーダー育成に努める。</p> <p>各家庭の通信環境の差を埋める工夫を行いながら、生徒用端末を用いた家庭学習の推進を図る。</p> <p>生徒の多くが第1希望の進路実現を成しえたが、学習の個別最適化をめざし、個に応じたきめ細やかな指導により学力の伸長を図る。</p> | <p>学力伸長のための継続した授業改善</p> | <p>授業改善の継続的取組とICTを活用した「個に応じた指導」の充実。生徒一人一人の進路の実現に向けた教育課程の再検討。観点別評価に係る評価の在り方とその方法についての再検討。</p> | |
| | <p>進路意識の高揚と希望進路の実現</p> | <p>生徒個々の将来を見据えた系統的なキャリア教育の充実。多岐にわたる幅広い進路希望に対応した丁寧な個別指導。個人の進路目標や学力に応じた課外授業の充実。</p> | |
| | <p>直高生としての誇りを高める生徒指導の充実</p> | <p>基本的生活習慣(時間厳守・挨拶・美化活動の励行)の確立。教育活動の凡事徹底。生徒を主体とした部活動、学校行事、特別活動の活性化。</p> | |
| | <p>自他の生命を尊重する人権教育の推進</p> | <p>教育活動全体を通して人権教育や情報モラル教育の推進。生徒情報の共有と教育相談体制の充実、特別支援教育の推進。いじめや差別を「しない。させない。許さない」人権感覚の育成。</p> | |
| | <p>開かれた学校づくりの推進と関係機関等との連携強化</p> | <p>学校ホームページ・SNS等を用いた広報活動の充実。直方市等地域と連携した学びの充実。地域の小・中学校と連携した活性化施策の推進。地域活性化や生涯スポーツ社会の実現に向けて全力で取り組む人材の育成。</p> | |
| <p>PTA・同窓会等との連携による教育環境の整備や学校行事等の充実</p> | <p>新型コロナウイルス感染症が第5類に位置づけられた後の「新たな教育環境」並びに「学校行事」の再構築。PTA・同窓会活動とのより良い連携体制づくり。</p> | | |

様式3

| 評価項目 | 具体的目標 | 具体的方策 | 生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等 | 生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等 |
|-------|------------------|---|----------------------------------|----------------------------------|
| 教科指導 | 基礎学力の向上 | 新教育課程に対応した学習指導方法を確立し、継続した指導を行う体制を整える。 各教科・学年で学力到達度テストを活用した取り組みを行う。 観点別評価の効果的な運用によって、生徒の特長を伸ばす学習指導を促進する。 | 授業アンケート | |
| | 学習環境の整備 | ICTを活用した不登校生徒への対応を工夫する。 新教育課程のカリキュラムを精査し、進路ごとに特化できる編成への改組を図る。 統合型校務支援システムをより効率化し、生徒への還元を図る。 | 学校満足度アンケート | |
| 生徒指導 | いじめ防止(組織的対応) | 学校いじめ防止基本方針に則って、組織的に対応する。 積極的ないじめの認知に向けて取り組む。(見逃し0の徹底) いじめアンケート等で気になる生徒は必ず面談を行い、他の職員と情報を共有する。 | いじめアンケート 学校生活アンケート | |
| | 学校行事の活性化 | 新たな日常のスタイルを確立しながら、伝統的な行事は引き継ぎつつ、変化していく。 行事後の反省を次に活かす。 生徒会執行部を中心に、生徒主体とした学校行事の活性化。 | 学校行事アンケート | |
| 進路指導 | 生徒の自発的なキャリア発達の促進 | 進路DP(ドリームパスポート)を活用し、進路意識や職業観、就労観の向上を図る。 進路ガイダンスをはじめとした進路行事の充実を図る。 総合的な探究の時間を通じて身に付けた探究サイクルを自らの進路学習や学問研究等につなげる取組を行う。 | キャリア教育アンケート | |
| | 第一希望進路実現の支援 | 進路ロードマップを作成・提示・共有し、進路決定までの道筋と目標を明確にする。 土曜講座や課外授業の講座編成を各学年、教科と連携し生徒の実態に即して、柔軟に変化させられるようにする。 早期に就職希望者を招集し、今年度の状況とこれからの展望や指導の流れを理解させ、自己の将来像と結びつけさせる。 | キャリア教育アンケート (就職率・進学率) | |
| 環境保健 | 生徒支援の充実 | 生徒情報を教員間で共有し、適切な支援を行う。 特別支援コーディネーターとの連携を図り、情報を共有し必要な手立てを行う。 外部講師を招いて研修会等を充実させる。 | 学校生活アンケート | |
| | 環境美化・健康意識の向上 | 環境美化活動計画を具体的に設定する。 自己の健康状態の把握と健康管理を行い心身ともに健康に過ごせるよう、基本的な生活習慣を身につけさせる。 防災訓練を実施し危機管理能力を高め、事故や災害が起こった時の行動や知識を身につける。 | 学校環境アンケート | |
| 研修・図書 | 校内研修の充実 | 職員研修会を年に5回以上実施し、教職員の資質向上に努める。 ICT研修会を実施し、全員がchromebookを使った授業を展開できるようにする。 基本研修やキャリアアップ講座の研修の記録を研究紀要に保存する。 | 授業アンケート | |
| | 図書活動の充実 | 朝読書を徹底させるために、年度当初に朝読書の意義について周知する。 「子ども読書の日」の取組を継続し、読書意欲を喚起する。 定期的に新刊案内や図書館だよりを発行し、図書館行事の情報を発信する。 | 図書アンケート | |
| 情報・広報 | 教育情報化の推進 | 一人一台端末の活用を促進するために、ICT支援員の活用や職員研修を実施する。 chromebookの持ち帰りを推奨し、家庭学習の強化につなげる。 タブレットやプロジェクター等のICT機器を整備、管理する。 | 授業アンケート | |
| | 広報活動の充実 | 学校案内や直高PRESSを充実させ、広報活動につなげる。 中学校訪問を通して直方高校の魅力を伝える。 学校ホームページに行事予定などを掲示し定期的に更新し、生徒、保護者のニーズに合わせたものにする。 | 学校生活アンケート | |

様式3

| | | | | |
|-----------|----------------------------|--|-----------------------|--|
| 人権教育 | 日常の人権感覚・意識を高める | 「振り返りシート」や人権学習後の感想を活用して、課題を明確化し、日常生活において指導に生かす。 いじめに関するアンケートの記述内容の把握を確実に、人間関係に課題はないか常にアンテナを張る。 人権学習等のLHRについて、生徒に正しく伝わるよう、ポイントが明確にわかるワークシートやパワーポイントを工夫する。 | 振り返りシート 人権学習ワークシート | |
| | 修学支援委員会による情報共有から指導・支援につなげる | 不登校生徒の欠課時数を早めに情報共有し、保護者支援の観点からも、家庭との連携を深める。 支援の方法に結び付けるために、関係機関やS C、S S Wとの連携を深める。 授業担当者や学年など学校全体に広げるための情報共有や支援の方法を模索する。 | いじめアンケート 学校生活アンケート | |
| 企画・庶務 | 式典や行事運営における企画 | 式典や行事運営における企画、実施要項及び資料作成の充実を図る。 企画の際に各分掌と連携し、詳細確認を徹底し業務内容の円滑化を図る。 各企画を早期に完了し文書作成を適切に行い、余裕をもって発送にあたる。 | 学校行事アンケート | |
| | PTA活動の充実 | PTA活動の再開により、反省点を整理し次年度へ活かす。 定期の役員会を行い、PTA行事の内容検討を行う。 PTA活動の広報を行い、保護者の参加と職員との協力を呼びかける。 | 学校生活アンケート | |
| 第1学年 | 基本的な生活習慣の確立 | 基本的な生活習慣を身につけさせるために、5分前行動、朝読書の徹底。 始業時の黙想、号令を徹底し、授業規律の確立を図る。 明るい挨拶、時間厳守の習慣を身につけさせる。 | 学校生活アンケート | |
| | 学習意欲の向上(基礎学力の定着) | 早期に、具体的な進路目標を設定させる。 家庭学習の定着を図るために、適切な質・量の課題を課す。 必要に応じて、個別の学習指導や添削を行う。 | 学校満足度アンケート | |
| 第2学年 | 豊かな人間性の育成 | 学校行事等を通して、リーダーシップの育成、およびフォローシップ、生徒間の連携を強める。 主体的に物事を判断し、一人一人が考えて行動できるように学年全体で指導に当たる。 静かな環境のもと朝読書を実施し、落ち着いて学校生活を送るとともに、豊かな情操を育む。 | 学校生活アンケート | |
| | 学力の向上 | 予習・授業・復習・課題提出の学習サイクルの徹底により家庭学習の充実を図る。 多様な進路に対応できるように、授業以外の場面において個に応じた学習に取り組み、学力の向上を図る。 総合的な探究の時間を通して、仲間と協働しながら学習することで、思考力・判断力・表現力を養う。 | 学校満足度アンケート | |
| 第3学年 | 希望進路を高みに置き、自らをスキルアップさせる | 『今の自分で手が届くところ』ではなく、その一段上、さらにその上を目指して努力させる。 『己の為の進路決定である』ことを念頭に置き、『自らやる』姿勢で取り組む。 進路種別に担当者を決め、担任だけでなくその担当者とともに進路指導にあたる。 | 学校満足度アンケート | |
| | 最上級生としての責任と誇りを持たせる | 学校行事や部活動で最上級生としてのリーダーシップを発揮させる。 『あと1年しかない』と諦めるのではなく、『まだ1年ある』とチャレンジの姿勢を保つ。 『直方高校で3年間過ごしてきた誇り』を持たせて卒業させる。 | 学校満足度アンケート | |
| スポーツ科学コース | 人間力、自律的活動力の育成 | 学年、学校をリードする生徒の育成に努める。 各種目のスキルだけではなく、各競技を通して、何を身につけさせるか。将来を見据えた人間力の育成を図る。 ホームルーム活動や、授業、部活動の様々な場面で、スポーツを通して、想像力や道徳心の育成を図る。 | 学校生活アンケート | |
| | 地域との連携 | 小学生の体力テスト補助を通して、指導者育成を図る。 日頃の教育活動全体を通じて、学んだことをアウトプットさせる。 様々な体験活動を通して、進路選択の幅を広げる。 | 学校満足度アンケート | |